

BULLETIN 6

(岡山大会ブルテン6と同じ)

規則の明確化-第 47.3 条

47.3 ケース A のレース再開

遅延はできるだけ短くされ、再開時刻が分かり次第、計時画面とチーム無線でチームに通知される。いかなる場合でも最低 10 分前の警告（音）が提示される。

シグナルは再開 10 分前、5 分前、3 分前、1 分前、30 秒前に表示され、各時刻に警告音が一緒に鳴らされる。

レースディレクターは安全上の理由で、スリックタイヤからレインタイヤへのタイヤ交換を認める決定をする場合がある。もしこれが認められた場合には、10 分前から 5 分前ボードの間に行わなければならない。

10 分前ボードからグリッド上ファストピットレーン上の車両はパルク・フェルメ条件ではなくなり、チームメンバーはドライバーの支援、タイヤとブレーキのチェック、エンジンの再始動目的のためだけに外部バッテリーの持ち込みと接続ができ、更にもしレースディレクターの許可が下りればタイヤ交換ができる。

チームはレースディレクターの許可と共にファストレーンから車両を回収しても良い。この場合、チームにはこの車両で列の最後尾からレースに復帰することが認められる。

5 分前シグナルが表示されたら、全ての車両はホイールを装着していなければならない。このシグナルの後、更にレースが中断された場合、その間ホイールはピットレーンでのみグリッド上で外することができる。

5 分前シグナルの際に、全てのホイールが完全に装着されていない車両の競技参加者には罰則が科される。

3 分前シグナルが表示された時に、車両はホイールが地面に下ろされていないなければならない。3 分前の時点で車両がホイール付で地面に下ろされていないか、全てのホイールが締められていない競技参加者には罰則が科せられる。

~~3分前シグナル表示後のある時間で、想定されるラップタイムに応じてコントロールラインと先頭車両の間にいる全ての車両には1周回するよう合図が出され、追い越さずにセーフティカー後方の車列に加わる。ピットレーンファストレーンにいない車両は、第 47b) 項及び c) 項の情報に従わなければならない。~~

1分前シグナルが提示されたら、エンジンをスタートする。全てのチーム関係者は30秒前のシグナルが提示されたら、全ての機材を持ってファストレーンから出なければならない。30秒前シグナルの後にもし手助けが必要なドライバーがいた場合、このドライバーはマーシャルに合図をしなければならず、ファストレーンから出られる残りの車両がそうしたら、マーシャルは車両を作業レーンに押し戻すように指示を受ける。この場合、黄旗を持ったマーシャルが当該車両（複数台の場合を含む）の脇に立ち、後続の車両に警告を出す。

ピットレーンを出ることができないドライバーは、マーシャルに合図をしなければならない。グリッドから出発する際に全てのドライバーは、コース脇に立っているチーム関係者が全員退去するまで最減速して進まなければならない。

~~マーシャルはグリッドから出走できる車両が全てなくなり次第、速やかにグリッドに残った全ての車両を最短距離でピットレーンに押し戻すよう指示を受ける。グリッドから押し戻された全てのドライバーは車両をスタートしようとはならず、マーシャルの指示に従うこと。~~

レースはグリーンシグナルが提示された時に、セーフティカーの後方で再開される。

ピットレーンを出た後、ある時点でセーフティカーがグリーンライトを点灯し、セーフティラインとリーダーの間にある車両は追い越しせずにさらに周回を完了するよう手を振られ、セーフティカー後方の車両の列に加わる。

グリーンシグナルが提示されたら、セーフティカーはグリッドピット出口から出発し、全ての車両はコントロールラインの後ろに停止した再開の順番で、5台分以上の距離を空けずに続く。セーフティカーに続く車列の最後の車両がピットレーンの端を通過次第、直ぐにピット出口のグリーンシグナルが点灯する。赤旗提示前（第 47.1 b) 項、第 2.6.1 b) 項）にピットレーンにいた全ての車両は、コースに進入してセーフティカー後方の車列に加わっても良い。赤旗提示後（第 47.1 c) 項）にファストレーンから押し出された車両は、レース再開後にピットレーンの端まで移動し、セーフティカー後ろから1周後にレースに復帰しても良い。

この周回中の追い越しは、1台の車両がコントロールラインから出遅れ、後方の車両がこれを追い越さないと残りの車列を遅らせることになってしまう場合にのみ認められる。この場合、ドライバーはレース中断前の順位に戻るためにのみ、追い越しをしても良い。

~~コントロールラインから出遅れた全てのドライバーは、もし残りの車両がコントロールラインを通過した後に自車が停止していた場合、他の走行中の車両を追い越してはならず、セーフティカー後方の車列の最後に付かなければならない。もし複数のドライバーにこの影響が発生した場合、彼らはグリッドから出発した順に車列の最後に付かなければならない。~~

セーフティカーの後方にいる間に不必要に別の車両を追い越したドライバーには、審査委員会の意見により罰則が科される。

セーフティカーは1周後にピットインするが、全車がまだ後ろに整列していない場合、またはレースディレクターが安全にレースを再開できると判断するまで、セーフティカーが継続する可能性がある。

もしレースが再開できない場合には、最終順位はレース中断のシグナルが提示された周回の2周前終了時点でのレース順になる。

The Panel of Stewards:

M. Ravin
Chief Steward

Rikki Dy-Liacco
Series Steward

Tony Tan
International Steward